

## 埼玉県 U12 冬季バスケットボールリーグ選手権大会

## 女子 戸田ミニバス「全国へ」越谷ウインズ

2022年度県U-12冬季バスケットボールリーグ大会選手権大会の最終日は1月29日、ウイング・ハット春日部で男女4チームによる決勝リーグが行われた。ともに2勝同士で優勝決定戦となり、男子は越谷ウインズが東川口に37-35で競り勝ち4年ぶりに優勝。女子は戸田ミニバスケットボールクラブが今季県2冠の行田ラビッツを47-41で破り、2度目の栄冠をつかんだ。両優勝チームは3月の全国ミニバスケットボール大会（国立代々木競技場体育館、朝日新聞社特別協力）に出場する。

## ▶女子決定戦

戸田 ミニバス	47	10-10 15-5 12-16 10-10	41	行田 ラビッツ
------------	----	---------------------------------	----	------------

## 今季No.1に競り勝つ

戸田は第2Q、ドライブで切れ込む志賀尋瑩がシュートとパスでオフェンスをけん引。高さのある山田美花をフィニッシャーに25-15とリードを広げた。第3Qからは、追い上げを狙う今季県2冠の行田のエース鈴木詩乃を山田と満辺紗那の二人が徹底マーク。完全に封じることができななくとも、石原心葉、志賀、満辺のゴールで差を詰めさせなかった。第4Qは志賀のドライブ、石原のロングシュートで引き離し、集中力を切らすことなく走り抜いた。

## ▶男子決定戦

越谷 ウインズ	37	2-10 13-10 10-7 12-8	35	東川口 ミニバス
------------	----	-------------------------------	----	-------------

## 片岡怜大が劇的決勝点

越谷ウインズは追いつかれて迎えた終了間際、山田巧のパスを受けた片岡怜大が見せた。ゴール下の密集をかいくぐった片岡はパスフェイントで一人をかわし、そのままジャンプシュート。劇的な決勝ゴールとなり、チームは37-35で勝利した。

今季県大会に続く連覇を目指した東川口。第4Qでは福岡臣がバスケットカウントを決めて一時逆転するも、あと一歩及ばなかった。



行田戦で切れ込む戸田の志賀尋瑩

## 全国を目指す勇気

全国大会出場をかけた一戦という、一番勝ちたかった試合で今季最高のプレーを見せた戸田。うれし泣きの選手たちを、西村隆信監督は力強い声でたたえた。「ナイスゲーム！ やってきたことが全部出せた試合だったよ」。

今季一番手の行田を相手にどこまでやれるかだった。相手エースへのダブルチーム（山田と満辺）も含め、「全員でしっかりプレーしよう」と臨んだ」と志賀は言う。「最初はいつもの緊張があったけど、後半はエースとして、しっかり攻められた」と胸を張った。

戸田は全国大会出場の1枠を狙う強豪チーム。一昨年初、新主将に任命された石原は重圧に耐えかね、一時チームを離れることも考えたという。それでも「また一生懸命やろうと思った」のは、一緒に成長していこうとする仲間たちがいたから。

2年前の全国大会はコロナ禍で予選が中止になり、秋の県大会で優勝した先輩たちが出場することになった。当日は入場制限があり、4年生だった現6年生10人は代々木のコートを見ることができなかった。「戸田ミニとして、ようやく実力で勝ち取った全国大会。自信をもって楽しみたい」（石原主将）。「全国」という目標に正面から向き合った1年だった。



試合を終えて喜ぶ戸田の石原心葉④と山田美花⑧



## 得意を伸ばす

残り10秒を切っていた。味方から通してくれたボールを手に、片岡怜大は決めた。いったんは密集するこぶりにマークがつけられた瞬間を、はない、角度のないジャンプシュート。初めてのガッツポーズで吠えた。



東川口戦で切れ込む越谷ウインズの高橋拓人(左)、守備は赤羽根字偉



女子優勝の戸田ミニバス



男子優勝の越谷ウインズ

【女子決勝リーグ】戸田62-29川口じりん、戸田69-33木崎、戸田47-41行田、行田64-36川口じりん、行田59-29木崎、川口じりん44-40木崎 (①戸田②行田ラビッツ③川口じりん④木崎)  
【男子決勝リーグ】越谷41-30朝霞フレンドリーズ、越谷61-38戸田南オールズ、越谷37-35東川口、東川口48-38戸田南、東川口41-31朝霞、朝霞53-38戸田南 (①越谷ウインズ②東川口③朝霞フレンドリーズ④戸田南オールズ)